

自らの絶望的危機にあえぐ「本部」革マル反動分子による組織破壊攻撃を粉碎せよ！

数々の裏切りと敵対を公然と居直り、「二期工事推進」35体制協力を強要するための組織破壊ビラの家庭送付を弾劾する！

すべての組合員の皆さん、路線的なドンツマリと組織的危機・内部からの不満批判の続出の危機にかられた、動労本部「革マル反動分子」は、今また新たな動労千葉破壊行為に出てきている。

・オ二五回定中委確認による最後の「復帰オルグ」だと称して、八鍬重一、山下庄一郎名で、「組合員の皆さんに訴えます」なるうす汚い卑劣文書を、先日來より、わが動労千葉の各組合員宅に送付してきている。

われわれは、断じてこれを許すことはできない。現に、この組織破壊ビラを一眼見ただけで怒りにうちふるえた組合員は続々とこの卑劣ビラを支部に持参し、「どんなでもないやつらだ」「よくもこんな恥知らずな事が書けたものだ」「何が最後の復帰オルグだ、逆に千葉内「本部」派を今こそ一人残らず解体・掃してやる」と、口々に怒りを表明し、決意をたぎらせている。

オ15回定中委の反動路線へのゆき上る批判をどうとうと必死にあぐら「本部」

ともども、この「最後の復帰オルグ」なる動労千葉破壊攻撃は、オ15回定中委（オ二五）

銚子の反動性と破壊性の直接の証明である。周知のように、遂に労組組合の原点を喪失して完全に国鉄当局の犬となり下がり、組合員に「攻撃が厳しいから、これから黙って一層一生懸命働け」「（この運動なる産報化運動）と強制する超反動的な方針を強行した。このあまりに反動的な内容、やり口に対し、全国各取場で組合員の激しい怒りがまき起り、組織的危機を急速に深めている。

買の皆さんに訴えます

「こんなうす汚いデマと恫喝パテンに、誰がだまされるか！」（新たな組織破壊活動のため組合員宅に送付された組織破壊ビラ）

八鍬重一 山下庄一郎

動労東京地本のある支部では現に次々と脱退者が出てしまっている。この危機をかみさんがため「（この運動を批判し続けている動労千葉を「つひせ」とばかりに悲鳴を上げ、不信をつのらせ、この組合員を恫喝し、絶叫しているのでは

る。あわせて、革マル嶋田とこの追従者土屋輝に引まわされる「オ二五」千葉地本の危機——（仙台、盛岡、青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、徳島、香川、高松、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、熊本、鹿儿岛、沖縄）

「三里塚敵対」を「労働運動」を強要する「本部」

オ二に徹底的に弾劾し、粉碎し、尽さなければならぬ事は、この「訴えます」なる組織破壊ビラの超反動的な内容そのものである。われわれは怒りなくしてこのビラを読む事は決してできない！ 「本部」革マル反動分子は、この中で、冒頭「皆さんのこの間の苦しみ、今後に対する不安は口では言い表わせないこととします。……」とマヌケな書き、①「シエット延長反対の無謀なストは組合員に犠牲と負担を押しつけただけのものでした……」②「春闘、労働条件、反合、反戦を叫びない千葉動労では組合員の利益は守れない……」③「15回定中委は仕事と生活を守るために、（この運動を）方針決定したが、千葉動労は、これに、合理化に協力する気持だ、とケチつけているのはけしからぬ……」④「千葉動労のように、二期工事阻止を叫んだり、35体制粉砕を叫んで、職場も仕事も生活も奪われてしまっています……」⑤「だから、3月31日までには復帰せよ」と、反動的方針をきかして、雑文を連ねている。

組合員の皆さん！ しつかりと確認しよう、これが当局権力と一体となったファシストの本性だ。……、この間、彼ら革マル反動分子が動労千葉に与え続けてきた「苦しみ」の数々——暴力襲撃、デモ、上げ、告げ、スト破り、処分申請、合理化協力……を、我々は断じて記憶し、最後の破壊オルグを怒も新たに粉碎し、本部派を解体せよ。